



垂水市議会議長  
**川越 信男**

# 新年のごあいさつ

Assembly 議会

Administration 行政

垂水市長  
**尾脇 雅弥**



## 試練を越え新たな日常を目指して

## 新しい成長の礎となる年に

**謹**んで新年のお慶びを申し上げます。市民の皆様には、穏やかに、あるいはご家族で賑やかな新年をお迎えのことと思います。昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの世界的流行は、ワクチン普及等により感染者数が減少し、日本においても、緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常が戻りつつあります。しかし、変異株への国際的な対策や経済活動への対応など、引き続き警戒が必要な状況でございます。また、7月に熱海市伊豆山で発生した土石災害では、多数の方が犠牲となられました。温泉の町であり、本市との親近感を個人的に感じており、1日も早い復興を心から願っております。幸いにも本市では大きな災害や人的被害はございませんでしたが、改めて災害へ

の備えの重要性を感じたところでございます。暗いニュースが多かった中で、延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催され、選手の方々の雄姿に世界中の方が力をもらったのではないのでしょうか。日本選手もメダルラッシュに沸き、中でも、本市で合宿をされましたフェンシング男子エペ団体の金メダル獲得は、感無量でございました。また、メジャーリーグでは、大谷翔平選手が投打の活躍でMVPを含む11冠に輝き、棋界では、藤井聡太竜王が、タイトル4冠など多くの最年少記録を更新され、スポーツや文化の力が、多くの人々の希望になることを大きく感じた一年でもありました。さて、新しい年がスタートしました。昨年は、ふれ

あいフェスタなど多くの市内イベントが中止となりましたが、今月には成人式が開催予定と、新たな日常が動き始めております。私達を取り巻く状況はまだまだ楽観視できませんが、皆様、安心・安全に過ごされる年でありませうに期待するところでございます。市政の主人公である皆様「任んで良かった」と思えるまちづくりを実践するべく、首長と共に二元代表制の1翼を担う議会の役割は、今後ますます重要になると考えております。執行部との連携を保ちながら皆様の声を市政に反映させる重要な責務を果たして参る所存でございます。皆様この一年が素晴らしい年でありませうと祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年明けましておめでと

うございます。昨年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、我慢の日々を過ごすこととなりました。本市では関係機関と緊密に連携し、感染拡大防止に全力で対応してまいりました。御尽力いただきました医療・介護・福祉等の関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。一方、経済対策として、複数のプレミアム付き商品券の販売、水産業の景気回復・PR促進のため「プリ・カンパチ井フェア」や学校給食への活用、また、農業者の方々に対象に「垂水市営農継続緊急支援給付金」の交付など、垂水市として出来得る最大限の支援事業に取り組んでまいりました。また、昨年12月24日には子育て世帯へ10万円を現金給付させていただきました。 「出口のないトンネルはない」

の言葉を胸に、ピンチをチャンスにかえ、元気な垂水づくりを進めてまいります。鹿児島大学等の機関と進める「たるみず元気プロジェクト」は、御参加いただいた方の95%が「良かった」と評価してくださいました。全国的にも類を見ない垂水市独自の取り組みを推進し、皆様とともに健康長寿のまちを実現できるよう、全力で取り組んでまいります。庁舎整備につきましては、外部検討委員会や市議会からの意見・要望を踏まえ、まずは「市民の皆様や職員の安全確保」を最優先に、現庁舎と消防庁舎の耐震補強を実施することを決断いたしました。また、一刻も早い耐震補強が望まれておりますことから、予算化に向けてすみやかに取り組んでまいります。桜島・錦江湾ジオパークにおいては、これまでの鹿児島

市エリアに本市と始良市が加わった拡大エリアで、昨年2月に日本ジオパークに認定されました。また、道の駅たるみずはまびらに隣接するマリオットホテルの建設工事も着々と進んでいるようです。国道220号牛根境防災の事業も始まりました。「垂水千本イチョウ園」や「大野つらさげいも」が全国放送される等々、明るい話題も多くありました。また、「牛根、新城、終原地区」の光ファイバ整備が今春完了となります。デジタル社会において「GIGAスクール」等の教育環境整備や、子育て支援のさらなる充実に力を注いでまいります。結びに、この一年が全ての皆様方にとって穏やかで素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。